



# 2025年度(2026年3月期)決算説明会

---

エクシオグループ株式会社 (Code:1951)

2026年5月13日

## 目次

<b>1</b>	<b>2025年度業績</b>		
	決算ハイライト	...	4
	業績ハイライト(受注高・売上高)	...	5
	業績ハイライト(営業利益)	...	6
	業績ハイライト(セグメント別状況)	...	7
<b>2</b>	<b>2026年度計画</b>		
	計画サマリー	...	9
	セグメント変更(2026年度~)	...	10
	計画サマリー(セグメント別状況)	...	11
<b>3</b>	<b>セグメント別の取り組み</b>		
	通信インフラ	...	13
	社会インフラ	...	14
	システムソリューション	...	16
<b>4</b>	<b>株主還元</b>		
	配当・自己株式取得	...	20

1



# 2025年度業績



## (1) 決算ハイライト

---

過去最高の受注高・売上高。Next-GIGA需要が大きく牽引

全セグメントで大幅増益。中計目標営業利益を大きく上回る

期末配当2円増配。26年度は配当方針をDOE4.5%へ変更

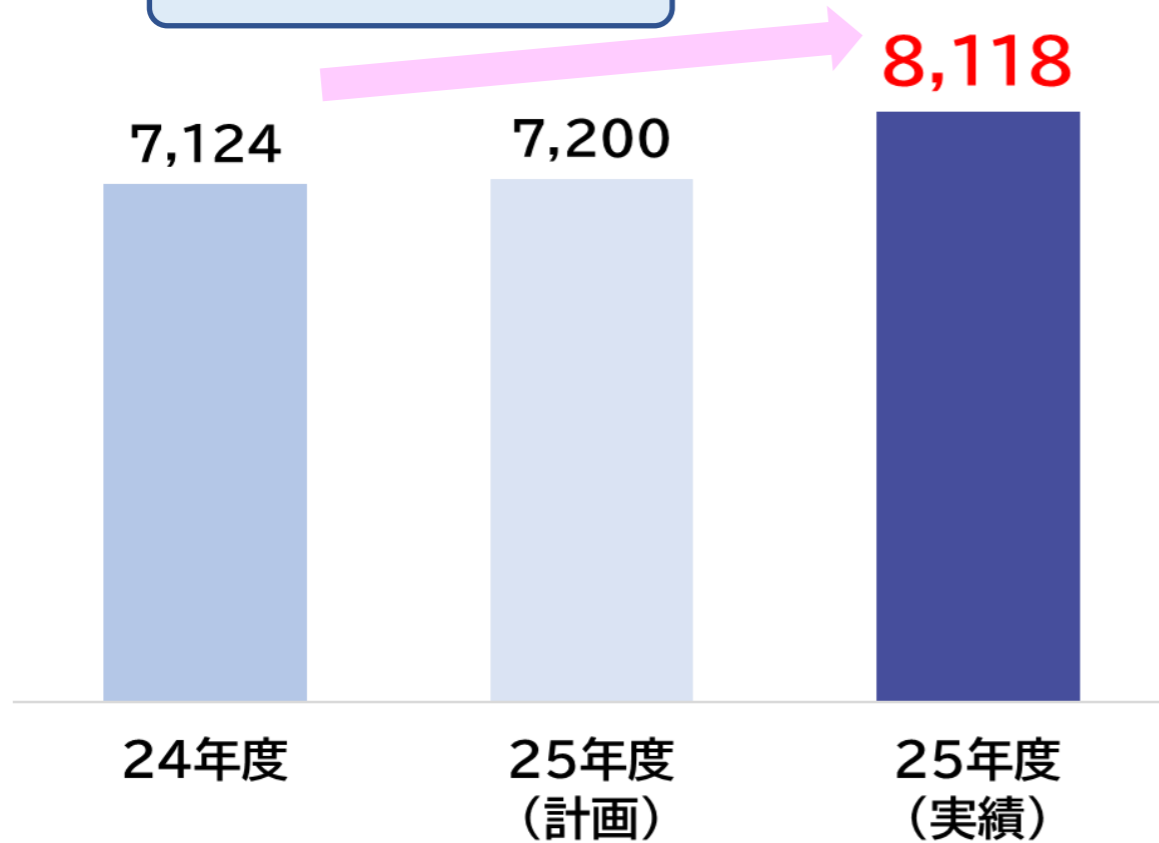
## (2) 業績ハイライト(受注高・売上高)

受注・売上とも対前年増で過去最高。繰越工事高も大幅増

(単位:億円)

### ■ 受注高

前年同期比 +14%



### ■ 売上高

前年同期比 +17%



繰越工事高  
3,903

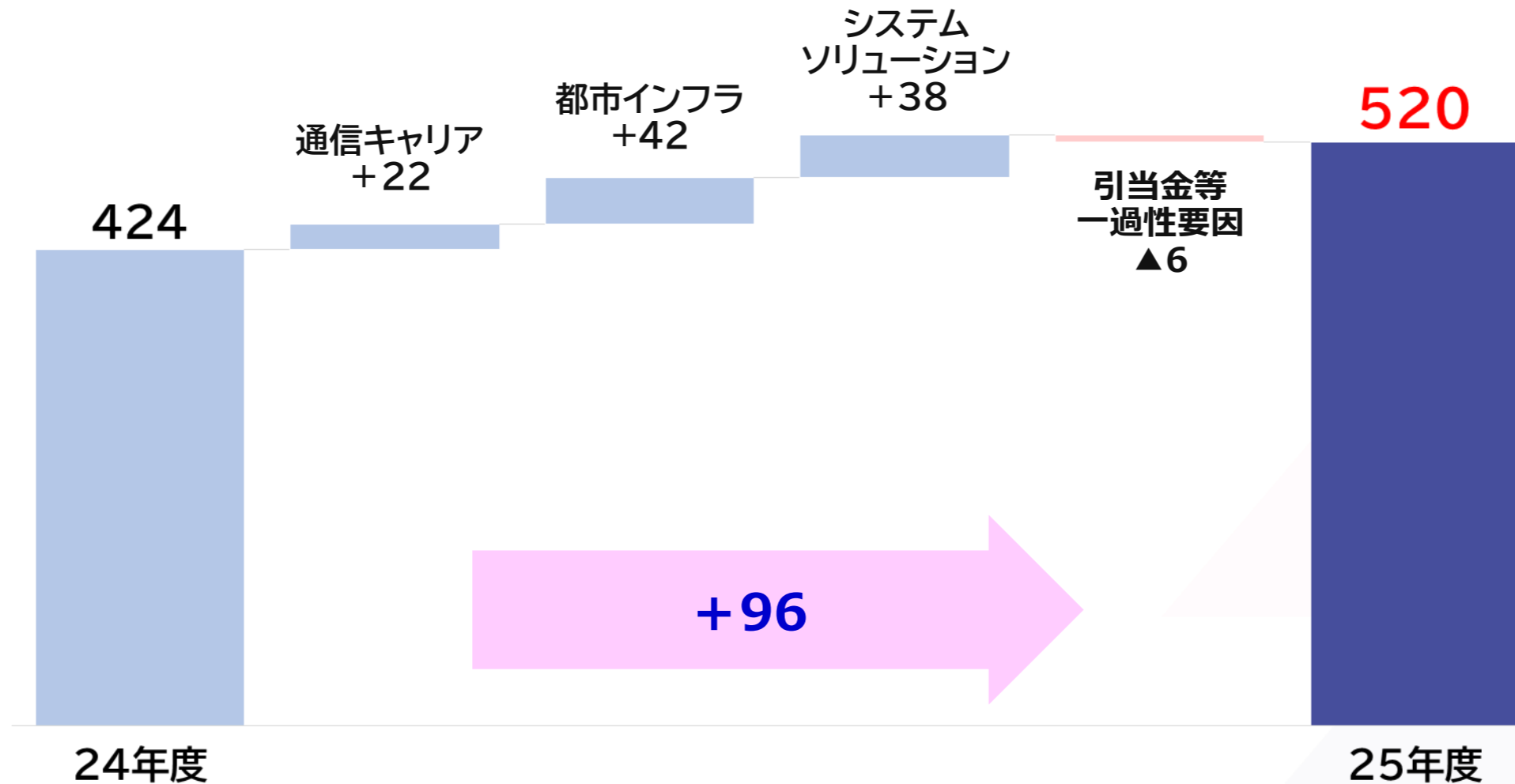
繰越工事高  
4,181

### (3) 業績ハイライト(営業利益)

引当金等の一過性要因があるものの、全セグメントで増益を達成

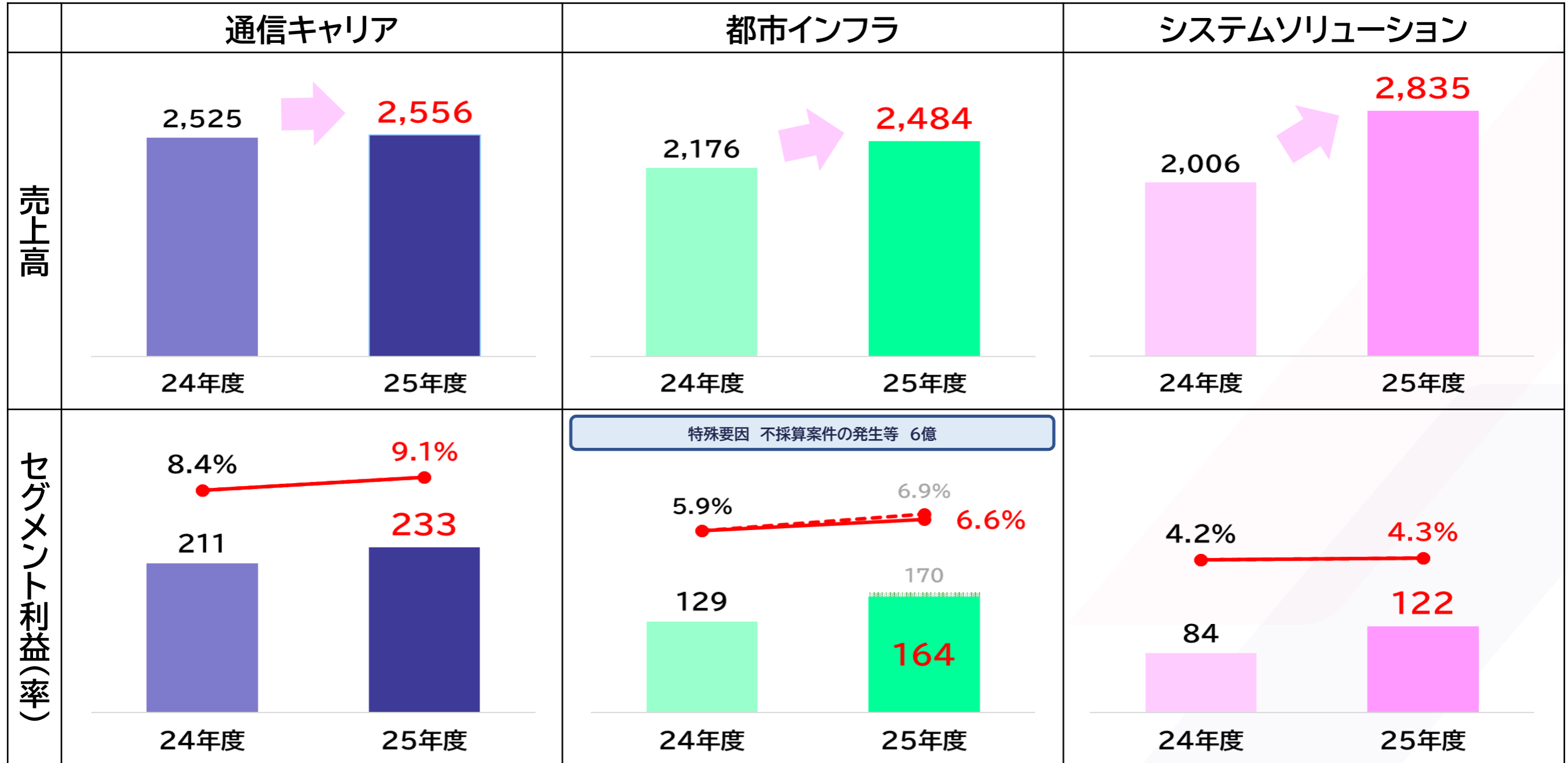
(単位:億円)

#### ■ 営業利益



# (4) 業績ハイライト(セグメント別状況)

(単位:億円)



2



# 2026年度計画



# (1) 計画サマリー

Next-GIGAの反動減影響が大きく減収を見込むも、営業利益は社会インフラセグメントを中心に利益改善に取り組み、560億円と増益を目指す

(単位:億円)

	2025年度	2026年度	
	実績 A	通期計画 B	前期差 B-A
受注高	8,118	7,700	▲418
売上高	7,877	7,500	▲377
営業利益	(6.6%) 520	(7.5%) 560	(+0.9P) +40

# セグメント変更(2026年度～)

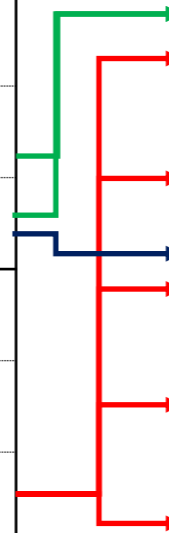
事業セグメントごとのマネジメント強化に向け組織体制を見直すとともに、セグメントの事業内容を社内外から分かりやすく整理することを目的にセグメント見直しを実施

## <現行>

セグメント	ビジネスユニット	概要
通信キャリア	NTTアクセス	NTTグループ向けアクセス・土木設備工事
	NTT-NW	NTTグループ向けネットワーク設備工事
	NTTモバイル	NTTグループ向けモバイル基地局設備工事
	NCC	KDDI、ソフトバンク、楽天向けの各種通信インフラ設備工事
都市インフラ	エネルギー	データセンターをはじめとする各種電気・空調工事 廃棄物処理プラント等の建設工事・運転維持管理
	公共基盤	無電柱化、非開削トンネル等の都市土木工事 自治体、官公庁、CATV、鉄道等の各種通信設備の構築・保守
	施設基盤	インフラシェアリングを含むその他企業向け通信設備の構築
ソリューション	情報システム	大規模システムの受託開発、システム構築等のSIソリューション サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド等のNIソリューション
	サービス	お客様システムの運用・保守、各種ライセンス販売 その他マネージドサービスの提供
	グローバル	海外における各種通信設備工事、ネットワークソリューション

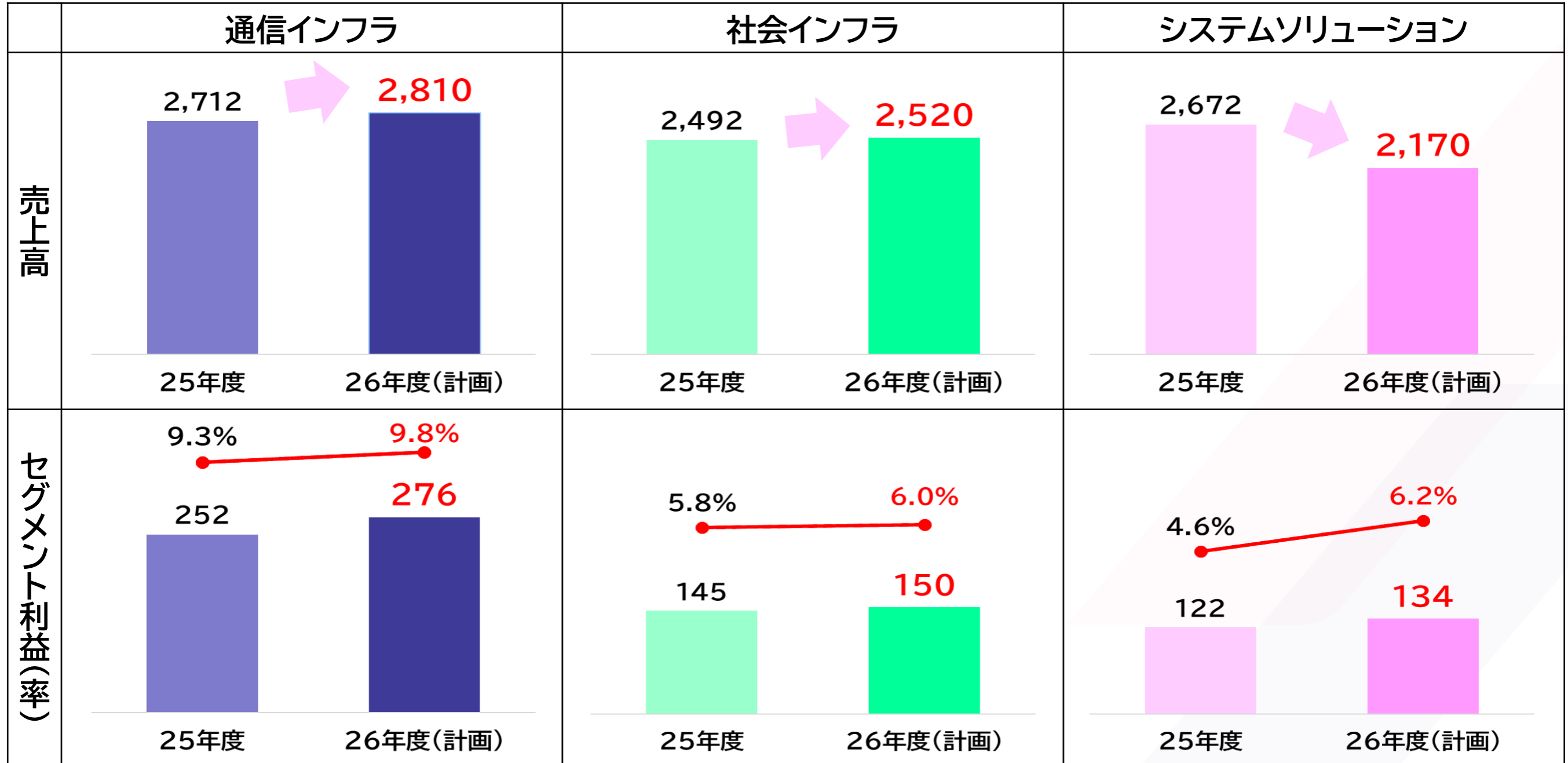
## <新規>

概要	ビジネスユニット	セグメント
NTTグループ向けアクセス・土木設備工事	NTTアクセス	通信インフラ
NTTグループ向けネットワーク設備工事	NTT-NW	
NTTグループ向けモバイル基地局設備工事	NTTモバイル	
KDDI、ソフトバンク、楽天向けの各種通信インフラ設備工事	NCC	
インフラシェアリングやCATV等その他の通信インフラ設備工事 (グローバルを含む)	インフラシェアリング	社会インフラ
データセンターをはじめとする各種電気・空調工事 廃棄物処理プラント等の建設工事・運転維持管理 (グローバルを含む)	電設エンジニアリング	
無電柱化、非開削トンネル等の都市土木工事 自治体、官公庁、その他民間企業向け各種通信設備の構築・保守 (グローバルを含む)	社会基盤エンジニアリング	
大規模システムの受託開発、システム構築等のSIソリューション サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド等のNIソリューション (グローバルを含む)	情報システム	ソリューション
お客様システムの運用・保守、各種ライセンス販売 その他マネージドサービスの提供 (グローバルを含む)	サービス	



## (2) 計画サマリー(セグメント別状況) ※新セグメントベース

(単位:億円)



3

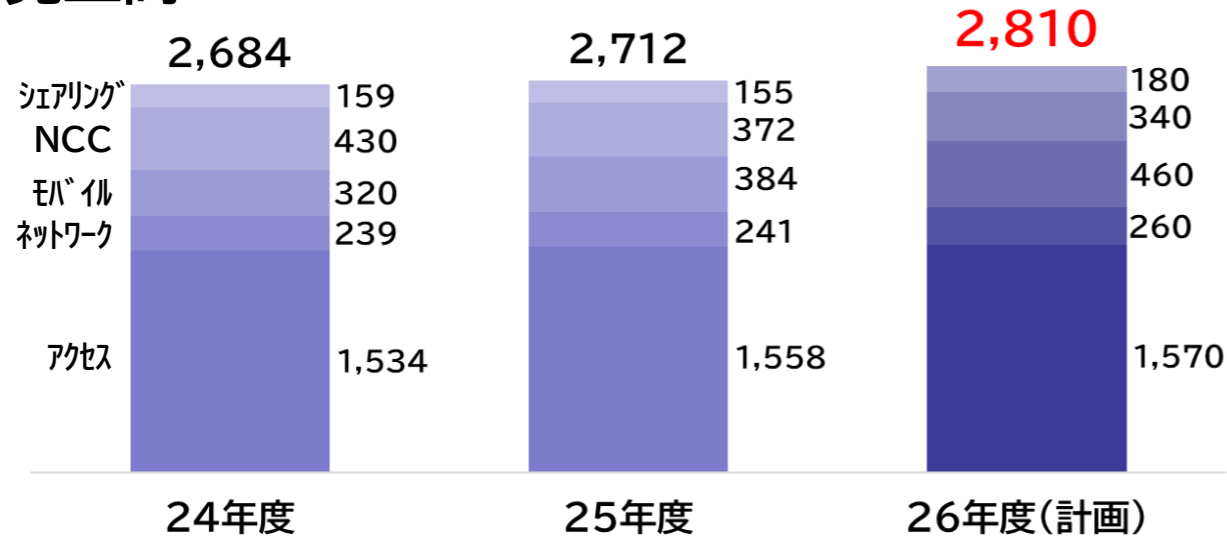


## セグメント別の取り組み

# (1) 通信インフラ ※新セグメントベース

(単位:億円)

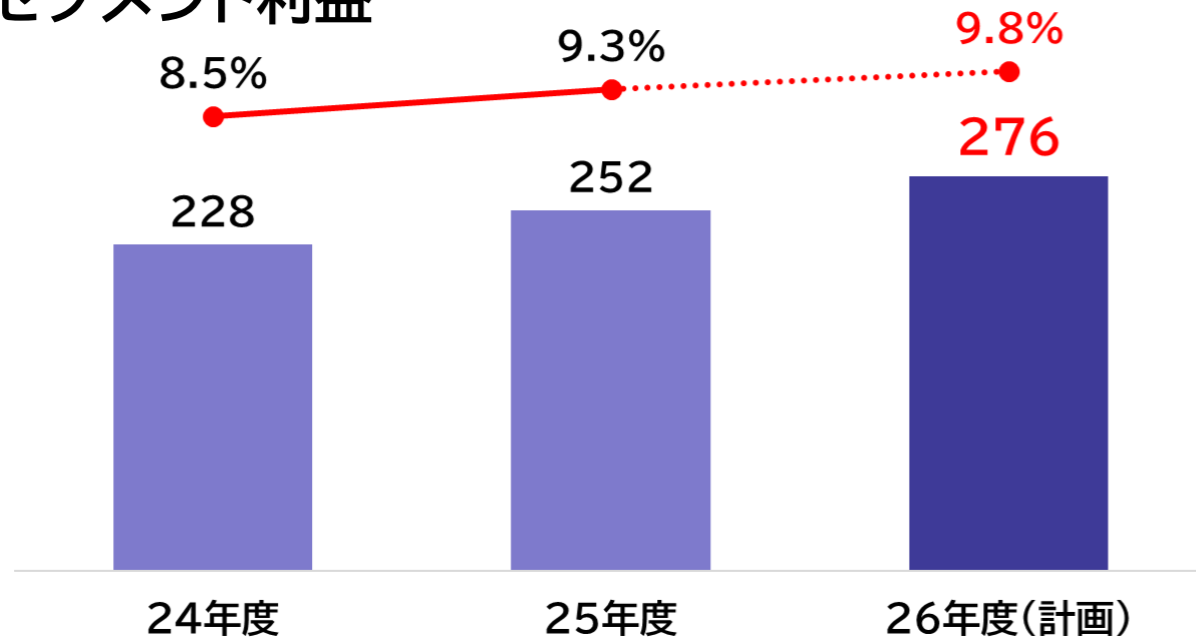
## ■ 売上高



### 25年度実績

- ・NTTグループ案件が好調で利益率も大きく改善
- ・楽天様案件は微増もNCCの投資抑制傾向は継続中
- ・CATVは伸び悩むも海外シェアリングが順調

## ■ セグメント利益



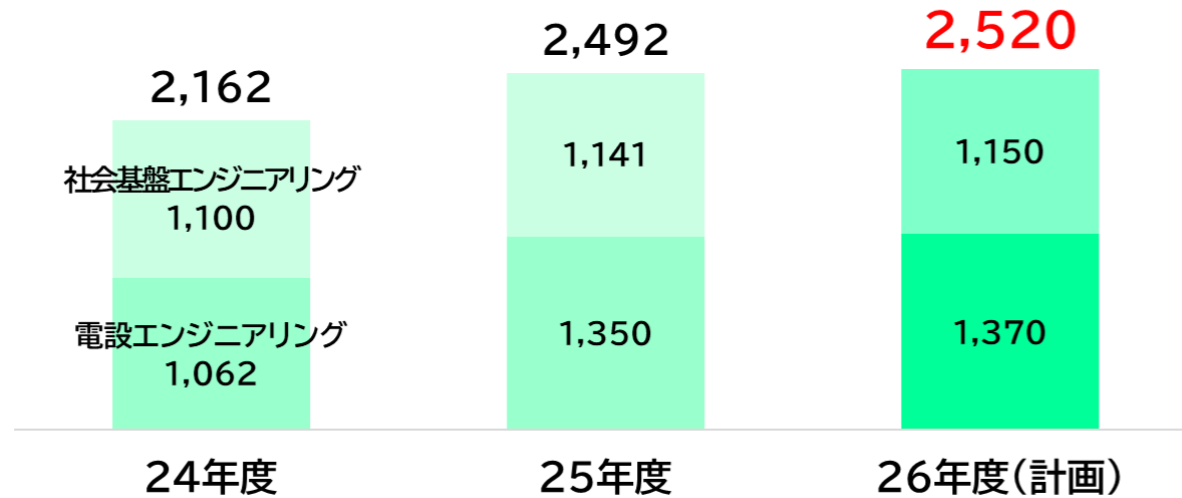
### 今後の取り組み

- ・品質強化/容量対策工事は高水準で26年度も継続
- ・グループ横断でのコスト効率化による利益最大化
- ・シェアリング展開における国内外事業連携を加速
- ・将来を見据えた事業基盤・安全品質の強化

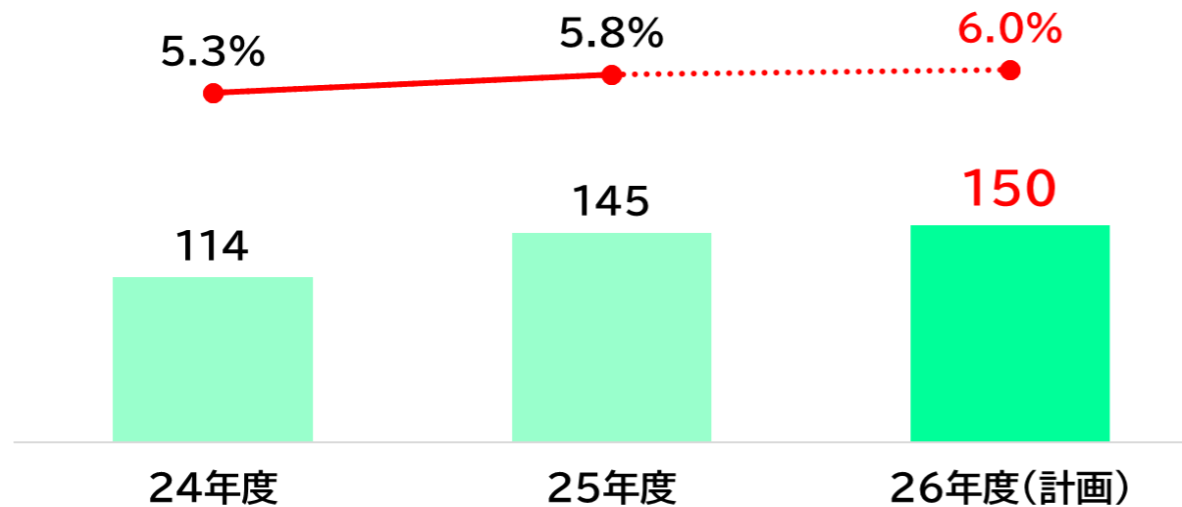
## (2) 社会インフラ ※新セグメントベース

(単位:億円)

### ■ 売上高



### ■ セグメント利益



#### 25年度実績

- ・大型データセンター案件の引き合いは継続
- ・公共施設の電気工事や蓄電池案件など大型工事受注
- ・国内外の手持工事進捗順調で売上・利益が向上

#### 今後の取り組み

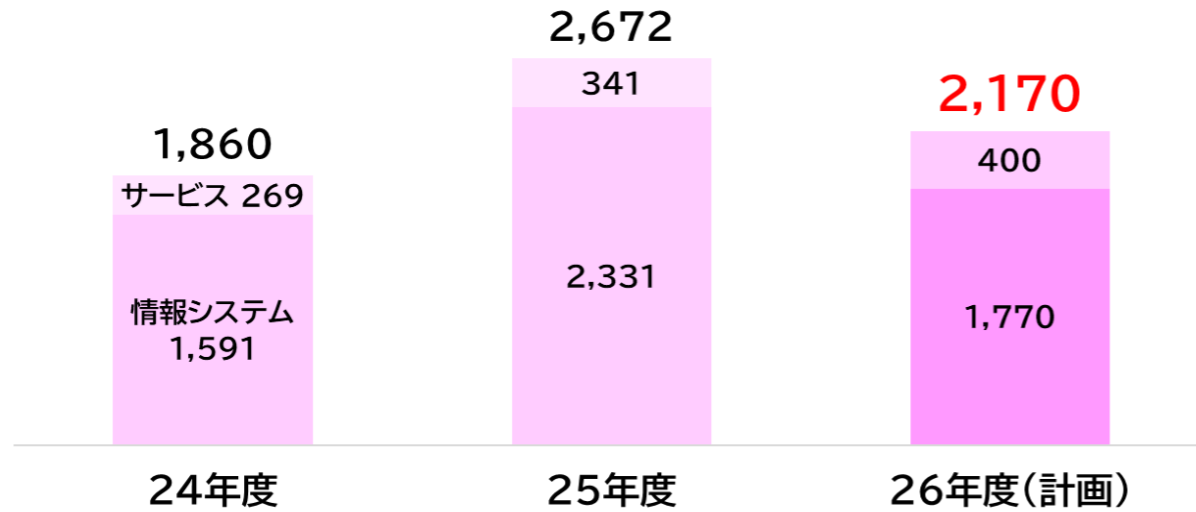
- ・グループ内連携強化によるDC営業施工体制の強化
- ・受注時採算を重視し、案件の選別と利益改善を継続
- ・大規模空調工事の積算/施工体制の早期確立
- ・技術ベースの国内外連携によりシナジーを創出



# (3) システムソリューション ※新セグメントベース

(単位:億円)

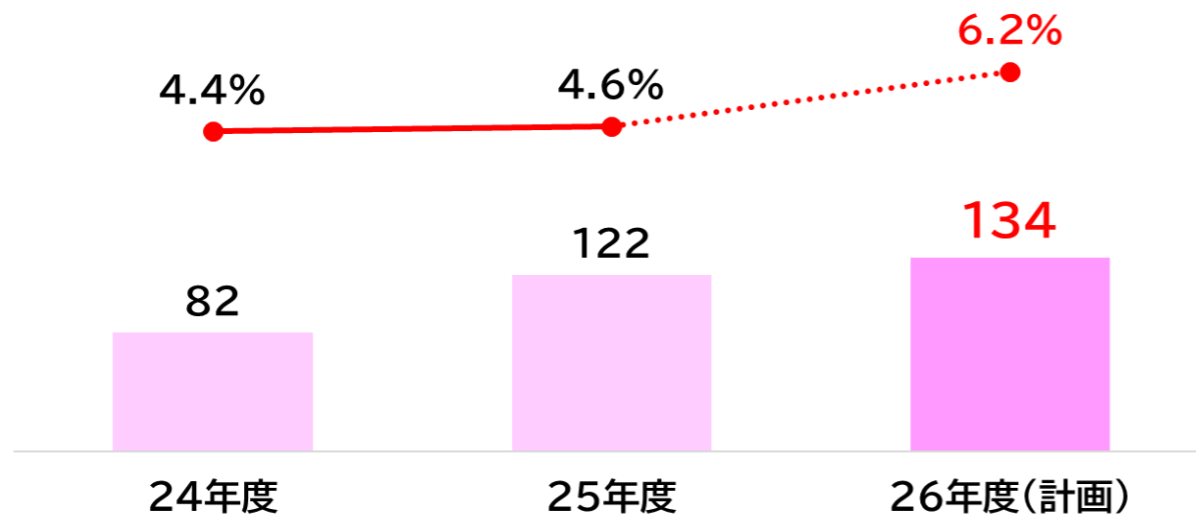
## ■ 売上高



### 25年度実績

- ・Next-GIGA案件の特需(FY25のみ)
- ・グループ内連携とクロスセルによりシナジーを創出
- ・海外ソリューションで採算改善

## ■ セグメント利益



### 今後の取り組み

- ・上流コンサル強化と高付加価値領域シフトの推進
- ・AI活用による抜本的な生産性改革
- ・グループ内システム部門との戦略的な連携
- ・グローバルでのソリューションと調達力を利活用


### (3) システムソリューション (オフリングサービスの提供)

お客様の課題を起点とし、当社グループの技術・ノウハウ・システム構築力をサービスパッケージとして、構想策定から現場実装、運用までを一貫して提供

#### ■ オフリングサービスの概要

グループの知見・実績を「ベストプラクティス」として整理・体系化して提供。

- ・コンサルティングにより課題を抽出し、ロードマップを策定
- ・ロードマップに沿ってシステム開発やネットワーク基盤を構築
- ・運用保守を通じた改善まで、継続的に伴走支援を実施

サービス名: EX-LIGN(エクスライン)   
EX(エクシオグループ)+ ALIGN(整列・提携する)

「LIGN」には、ALIGN(整列・提携する)、そして LINE(一本の線をつなぐ) という意味を込めている。EX-LIGNは、現場の実態を可視化し、部門間のズレを見極め、一本の線(LINE)につなぐための伴走型アプローチ。DXが止まらず、回り続ける組織を、お客様とともに作り続ける。

#### オフリングサービス



経営戦略・事業構造

中長期の成長に向けた経営戦略と  
事業構造の強化・再設計



オペレーション

業務・運用の高度化により生産性向上と  
属人化解消を実現するオペレーション変革



人財・組織

組織・人財変革により  
現場とITが連携して改善を回せる体制を整備



技術基盤

データ連携とセキュリティ運用管理を  
備えた基盤構築

#### 特化型オフリングサービス

建設業

宿泊業

医療  
福祉

製造業

教育  
学校支援

公共

### (3) システムソリューション (冷凍倉庫の省エネルギー運用に向けた実証)

コールドチェーン分野における省エネルギー運用の実現を目的として、福山冷蔵株式会社様と共同で、冷凍倉庫の運用改善に関する実証を実施



福山冷蔵株式会社 中川センター 外観

#### ■コールドチェーンソリューション

- より効果的な省エネルギー運用の可能性があるコールドチェーン分野に着目
- 福山冷蔵株式会社様と共に冷凍倉庫の運用に関連する各種データを収集・可視化
- 当社のデータ解析・運用最適化の技術を活用した消費電力に関する検証の結果、冷凍機運用を工夫することによって消費電力の低減が図れる可能性を確認
- 本実証で得た知見は、日本冷蔵倉庫協会等の業界団体及び業界紙等に積極的に展開、冷凍倉庫における省エネルギー運用の実現に貢献し、コールドチェーン分野における課題解決に取り組む

当社はGX(グリーントランスフォーメーション)を通じた社会課題の解決を重要なテーマの一つと位置づけ、エネルギー効率の向上やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めています。

4



# 株主還元

# (1) 配当・自己株式取得

25年度の好業績を受け、25年度期末配当を2円増配

26年度は配当方針をDOE4.5%基準に変更し80円を予定、15期連続増配予定

自己株式の取得も総還元性向60%を基準として継続し、40億円の取得を公表

## ■ 株主還元の方針変更

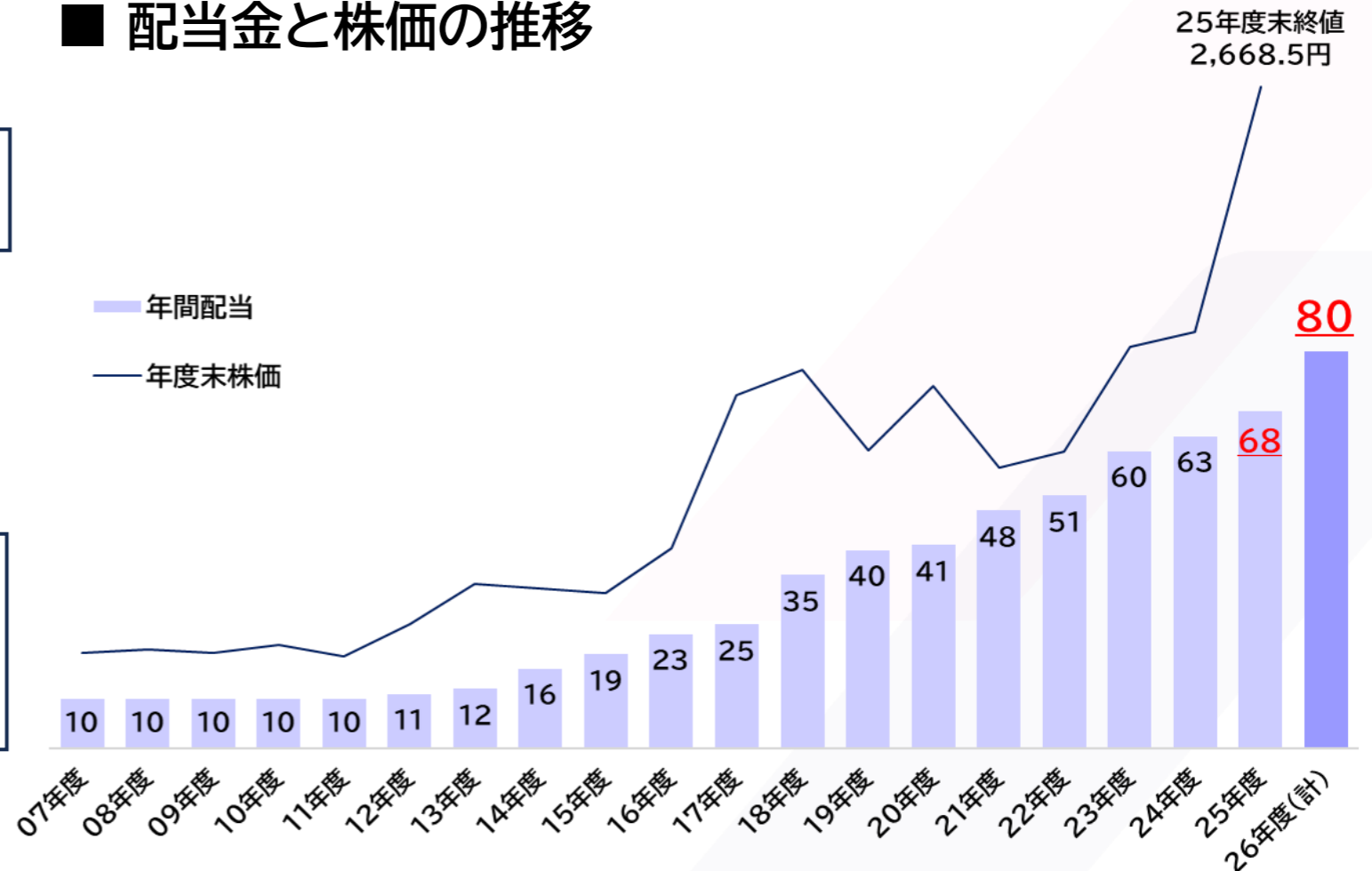
配当金:DOE4.0%目途に実施

### 26年度以降の還元方針

配当金:DOE4.5%目途に実施

総還元:総還元性向60%目途に自己株式取得を継続

## ■ 配当金と株価の推移



## 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において認識および入手している情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、経済情勢、市場動向、為替レートの変動など、様々な要因により、これらの見通しとは異なる結果となる可能性があります。また、当社は、本資料に含まれる情報が正確かつ完全であることを保証するものではなく、内容の誤りや欠落に関して一切の責任を負いません。

本資料は、当社および当社グループの事業内容を理解していただくための情報提供を目的として作成されたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。実際の投資に関する決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。

### 【お問合せ先】

エクシオグループ株式会社

経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室

IR担当 酒井、小谷、古閑

TEL 03-5778-1073

Mail [exeo.ir@en2.exeo.co.jp](mailto:exeo.ir@en2.exeo.co.jp)



# *Engineering for Fusion*

社会を繋ぐエンジニアリングを  
すべての未来へ

